

平成31年度 第2層雄物川地域協議体 「おもいの川支えあいネット」の取り組み

○構成員

民生委員、福祉協力員、医療関係者、老人クラブ、交流センター、共助組織、地域活性化グループ、地区会議、直売の会、社協職員など（18名）

○定例会開催回数

平成29年度…5回、平成30年度…6回、令和元年度…6回

○生活支援協議体(協議体)の取り組み

公共交通機関が少ない地区を対象に実施した「買い物」に関するアンケート調査結果をチラシにより地域へ情報発信し、将来を見据えた生活支援の必要性について意識啓発を行った。また、協議体の取り組みを活性化させるために新構成員を迎え入れ、必要な取り組みについて意見交換を行っている。なお、地域活動を詳細に把握することで、町内毎に必要な取り組みの検討につなげようと、民生委員や福祉協力員からの聞き取りなどを行いながら地域活動一覧表の作成を進めている。

《主な取り組み》

①買い物に関するアンケート結果を地域へ発信

公共交通機関が少ない地区を対象に行った「買い物に関するアンケート」の結果をまとめ、将来的にスーパーへの送迎支援などが必要との意見が多いことや高齢化などにより、今後ますます生活支援の必要性が高まることなどをチラシにより周知した。



～アンケート結果をまとめたチラシ～

②地域活動一覧表の作成

町内会単位の地域活動などを詳細に把握することで、地域の実情に応じた必要な取り組みにつなげようと、構成員同士の情報交換のほか、民生委員や福祉協力員からの聞き取りなども行いながら情報収集し、地域活動一覧表の作成を進めた。



～協議体での情報交換の様子～